

令和2年度 水道事業会計予算のあらまし

水道事業は、主にお客さまからお支払いいただいた水道料金で運営されています。24時間365日、安定的に水を供給するため、震災対策や老朽した施設の更新などを進めます。また、安全でおいしい水をお届けするために、施設の整備や維持管理を行います。

令和2年度の業務予定量

| | |
|---------|-------------|
| ◇給水戸数 | 129,469戸 |
| ◇年間総配水量 | 30,924,000㎡ |

収益的収支 (税込)

(水道水を供給するための収入と支出)

収入 53億8,305万円

会計補助金、分水収益、
売電収益など
3億7,061万円

長期前受金戻入※
4億8,262万円

水道料金（メーター使用料金含む）
45億2,982万円

水道水を作り、送り届けるために必要な費用
25億2,577万円

施設の減価償却費など
21億45万円

借入金の支払利息
3億7,881万円

利益
3億7,802万円

支出 50億503万円

※長期前受金戻入とは、水道管などの固定資産の取得の際に交付された補助金、工事負担金など（長期前受金）を資産の減価償却に合わせて各年度に収益として計上するものです。

資本的収支 (税込)

(水道施設を整備するための収入と支出)

収入 16億2,107万円

工事負担金など
5億2,107万円

国などからの長期借入金
11億円

不足額※
26億2,214万円

施設を建設したり、古いものを新しく整備する費用
26億4,545万円

借入金の元金返済額
15億2,549万円

メーターや機械などの購入費用
7,227万円

支出 42億4,321万円

※不足額は、減価償却費などの内部留保資金で補てんする予定です。

令和2年度の主な事業

●配水管整備事業

災害時に重要拠点となる医療機関や広域避難場所等へ優先的に給水ができるように配水管路の耐震化を進めます。また、経年化による管路事故の被害を最小限にとどめるため、古くなった配水管の布設替えなどを実施します。

●浄水施設建設改良事業

安全、安心な水を安定的、効率的に供給するために浄水施設の整備や更新を行います。今年度については、停電対策として非常用自家発電機燃料タンク増設工事、耐震化対策として水源の長寿化対策工事などを予定しています。

令和2年度 公共下水道事業会計予算のあらまし

公共下水道事業は、汚水の排除による生活環境の改善や公共用水域の水質保全、雨水の排除による浸水防除としての役割があります。汚水処理は主にお客さまからお支払いいただいた下水道使用料、雨水処理は一般会計からの負担金で主に運営しています。

令和2年度の業務予定量

| | |
|----------|-------------|
| ◇接続戸数 | 47,329戸 |
| ◇年間総処理水量 | 32,009,278㎡ |

収益的収支 (税込)

(下水道を処理するための収入と支出)

収入 47億9,891万円

雨水処理負担金
13億5,537万円

国庫補助金、他会計補助金、受取利息など
7億4,013万円

長期前受金戻入※
11億7,990万円

下水道使用料
15億2,351万円

汚水や雨水を処理するために必要な経費
18億5,886万円

施設の減価償却費など
24億3,009万円

借入金の支払利息
4億9,874万円

利益
1,122万円

支出 47億8,769万円

※長期前受金戻入とは、下水道施設などの固定資産の取得の際に交付された補助金、工事負担金など（長期前受金）を資産の減価償却に合わせて各年度に収益として計上するものです。

資本的収支 (税込)

(下水道施設を整備するための収入と支出)

収入 27億7,074万円

国庫補助金、受益者負担金、工事負担金など
6億9,754万円

国などからの長期借入金
20億7,320万円

不足額※
13億2,235万円

施設を建設したり、古いものを新しく整備する費用
18億4,528万円

借入金の元金返済額
22億4,101万円

機械や工具などの購入費用
680万円

支出 40億9,309万円

※不足額は、減価償却費などの収益的収支で内部留保された資金で補てんする予定です。

令和2年度の主な事業

●下水道管渠整備事業

汚水処理の未普及解消に向けて、公共下水道事業認可区域の北部処理区において管渠を整備し、汚水処理区域の拡大を図ります。

●下水道施設改築更新事業

老朽化した設備・管路の改築・更新を進め適切な維持管理を図ります。